

こんにちは

号外

# 庄内町議会

です



それぞれの思いを胸に

## 起立採決

● 駅前開発8対10で否決

〈議案〉 P2、3

● 駅前開発って何？

〈ふれあい〉 P4



No11  
19.8.20

# 駅前開発って何？



## 駅前開発と中心市街地活性化

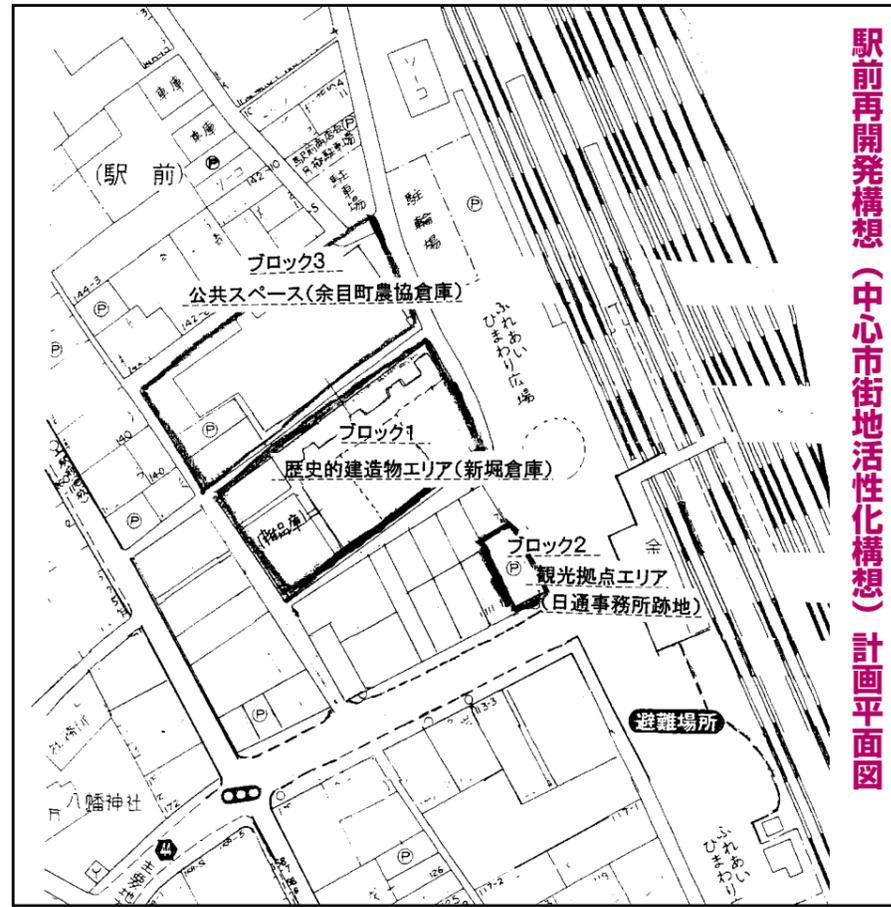
### \*なぜするの

町では、教育・子育て、元気で長寿とともに、産業の振興を施

策の柱に揚げ、まちづくりに取り組んでいきます。また、18年6月に策定した総合計画では、

「農工商が一体となった活気あるまちづくり」を主要な目標と定め、同時に、中心市街地の商業や公共サービス機能の向上、住環境の整備、駅前倉庫などを核とした駅前開発や、周辺整備、観光物産事業へも積極的に取り組むことも検討してまいりました。

### 駅前再開発構想(中心市街地活性化構想) 計画平面図



### \*どんな内容

特色別に、5つのブロックに分けています。町として取り組むものは、次のとおりです。

#### ブロック1 (歴史的建造物エリア)

新堀倉庫を活用し、オフィス空間、観光交流施設、観光物産施設

#### ブロック2 (観光拠点エリア)

日通事務所跡地を活用し、観光案内施設

#### ブロック3 (公共スペース)

余目町農協倉庫を活用し、子育て支援、福祉施設、公園、駐車場

### \*予算などは

町では、20年4月から、IT企業へのオフィス賃貸事業を予定しており、新堀倉庫、余目町農協倉庫、日通事務所跡地の6千㎡を、合併補助金1億1千200万円を活用し購入。また、オフィス空間改造の第1期で7千万円。観光交流、物産施設に6億1千万円。町農協倉庫関係で1億5千万円。日通事務所跡地関係で3千万円。全体では9億7千700万円の概算事業予測を立てています。

発行人	議長 梅木 隆
議会広報調査特別委員会	

# 駅前開発 8対10 否決

7月26日臨時会を開き、駅前開発事業に係る補正予算について審議し、起立採決の結果、賛成8、反対10の賛成少数で否決しました。

## 補正予算

国からの合併補助金1億1千244万2千円を財源とし、土地購入1億1千244万3千円と設計委託料578万7千円に申請手数料を加え、予備費で調整した。

## 提案理由

今回の駅前開発の目的は、若者の雇用確保と定住化対策と中心市街地活性化にある。「合併補助金」の使用については、全国で庄内町の申請内容が国から評価されたものととらえている。

最優先して中心市街地活性化事業に着手するのは、合併時のアンケートの結果など、町民が一番望んでいるもの

## 賛成した議員

- 石川 保
- 石川 利
- 大瀧 力
- 佐藤 彰
- 吉宮 茂
- 村上 順
- 齋藤 君
- 富樫 透

## 反対した議員

- 齋藤 健一
- 小野 一晴
- 日下部 勇一
- 池田 勝彦
- 日下部 忠明
- 工藤 範子
- 小林 清悟
- 小松 貞暉
- 奥山 篤弘
- 石川 恵美子

## ことばの解説

### 合併補助金

合併した市町村が受けられる補助金で、内町の場合は、2億4千万円です。

のを優先した結果である。

審議では17名が立ち町当局と活発な議論が交わされました。

その後の討論では、賛成討論3、反対討論4の計7名が、それぞれ意見述べ、最後に議長を除く18名による起立採決の結果、賛成8・反対10の賛成少数で否決しました。

## 賛成討論

佐藤 彰

私共が考えるべき事は、手続き論や人口論に惑わされることなく本質を見極め、町益に資するか否かである。

この企業進出は、雇用の確保、若者定住人口の増加が図られ、ひいては町内でのお金の循環が生れ、活性化に結びつくものである。今日がその出発点であり、内定をいただ

き本社で汗を流している方、来春からの勤務を心待ちにしている方

## 賛成討論

齋藤 君夫

そしてそれらの家族、その芽を生かすかつぶすかは私共にかかっているものである。

庄内町が誕生して2年の歳月が経過し、3年目に入った。庄内町の発展は総合産業、つまり農業・工業・商業が一体となった振興にかかっている。今こそ町民と協働の力を発揮し、文化を誇る町の出発点とすべきではないか。

庄内町の英知を出し合い、いい方向に向けた町づくりが大切である。百年の大計の下、将来を託する子供達のためにも賛成するものである。

石川 保

これまでの経過をみると、住民への説明など反省すべき点も多い。しかし、本旨は「いかに町益に資するか」であり、手続き論などではない。

来春創業予定の会社を核として、光ファイバーを活用した産業振興への拡がりも期待でき、町民要望の高い、雇用の創出にも十分応えられるものである。観光振興など、課題もあるが、今後の話し合い等で対応できるものであり、町益に資する内容であると判断し、賛成するものである。

どうするの 駅前開発



## 反対討論

日下部 勇一

①土地購入費1億1千200万円スタートで、10年間で10倍の計画である。町は不動産業をしている。

②合併補助金は住民サービス向上に活用すべきである。

③ユニカ進出が先で市街地活性化が後になっていく。町民が望まない大型事業は、町長・副町長二人が

アクセルを踏んでは事故がおきる。

④合併特例債7千万円を1企業に使う事は地財法5条違反である。滋賀県栗東市に大津地裁で起債差し止め判決が下された。

奥山 篤弘

町民の多くの声は「企業誘致賛成、駅前開発慎重」という考えである。10億もの金を

投入し効果が見込めるのか。

町長の言う観光交流施設、観光物産施設など酒田山居倉庫の2番煎じ、3番煎じで本当に誘客できるのか。

むしろ北海道夕張市が破綻し、連日マスコミに報道されたようなことにならないのか、町民は心配している。

鶴岡駅前マリカの破綻、酒田駅前開発の困難さ、全国的にも駅前開発は成功例がない現況である。

池田 勝彦

当初、9億7千万の計画があり、その後倉庫敷地6千㎡の購入で1億1千万円余を先行し、全体計画は今後協議したいとの事。おそれているのではないか。

合併補助金があるから、IT企業が倉庫の活用を望んでいるから、開発を今進めるのは拙速すぎるし、その政治姿勢は選択と合意に欠

けるものである。

倉庫敷地の購入ならば、別の基金の取崩しも可能である。合併前の町民との約束を反故にするのか、入口論とか反対の為の反対ではない。

小野 一晴

今回の駅前開発に関する私の判断基準は、庄内町の最初の重大プロジェクトとして余目駅前の開発することを、町民が望んでいるかどうかである。

議会議員としてのアテンテナをフルに伸して、可能な限り町民の意見を聞いたが、そのほとんどが否定的であった。また、町長は、町民を代表する議会にも、今なぜ駅前開発なのか十分な説明ができていない。今回否決するにあたってのデメリットに対する批判を甘んじて受けてでも賛成はできない。